

ソニックスタート5 取付説明書

20221121



1. ハーネスの配線

インストールガイド(車種専用品的場合はカラー取説)に従って配線を行って下さい。

2. DIPスイッチの設定

DIPスイッチの設定を行って下さい。DIPスイッチの設定は、取り付け時にのみ行って下さい。不用意に変更すると、本製品が正しく動作しなくなる可能性があります。出荷時は、全て OFF に設定しています。(上:OFF、下:ON)



No	設定項目	ON	OFF	説明
1	P/Nポジション検出方法	配線	自動	CN4③桃線を配線する(Pポジションの自動検出ができない場合やMT車に取り付ける場合にONにしてください。
2	アンサーバック入力	見ない	見る	
3	ブレーキ/クラッチ入力	クラッチ(-)	ブレーキ(+)	CN4②白線をクラッチに配線する場合にONにしてください。
4	未使用	-	OFF	すべてOFFで使用して下さい。
5	未使用	-	OFF	
6	未使用	-	OFF	
7	スマートモジュール/ スマホ対応モジュール	有	無	スマートモジュール、またはスマホ対応モジュールを接続する場合にONにしてください。ONにすると、スマートモジュールのリモコンが近くにないとエンジンの始動ができなくなります。
8	ドア開閉検知信号	+	-	CN4①赤/白線の接続先の極性に合わせて変更
9	CN4①赤/白の 基板上のダイオード	無	有	基本的にはONでご使用下さい。アルファードとFJクルーザーは、OFFでご使用下さい。

3. 「イモビキャンセラー」「ステアリング/スマートキー対応アダプター」の設置

それぞれのオプションに付属する取説に従って、配線及び設置を行って下さい。

4. ハンドルロックの解除

- エンジンキーについて(重要)
- ・エンジン始動する前にエンジンキーをイグニッションキーシリンダーに挿し、IGまで回して、必ずハンドルロックを解除してからエンジンを始動してください。

【参考】エンジンキーを挿したままにする方法(車検に合格しない場合があります。)

- ハンドルロックを解除するためにキーをキーシリンダーに挿し込み、ONの位置まで回して下さい。
- キーの柄の部分のカットして、キーシリンダーカバーで隠すと見た目も自然で、防犯上も安心です。キーは、ホームセンター等で作成できるスペアキーで結構です。

キーでエンジンを始動する車両



柄の部分のカットして差し込みます。

ノブでエンジンを始動する車両



ノブをONの位置まで回しておきます。

キーシリンダーカバーの取付例



【注意】キーシリンダー裏のキー挿入検知用のカプラー(4ピンぐらいの小さなカプラー)は、必ず抜いて下さい。

5. 動作確認

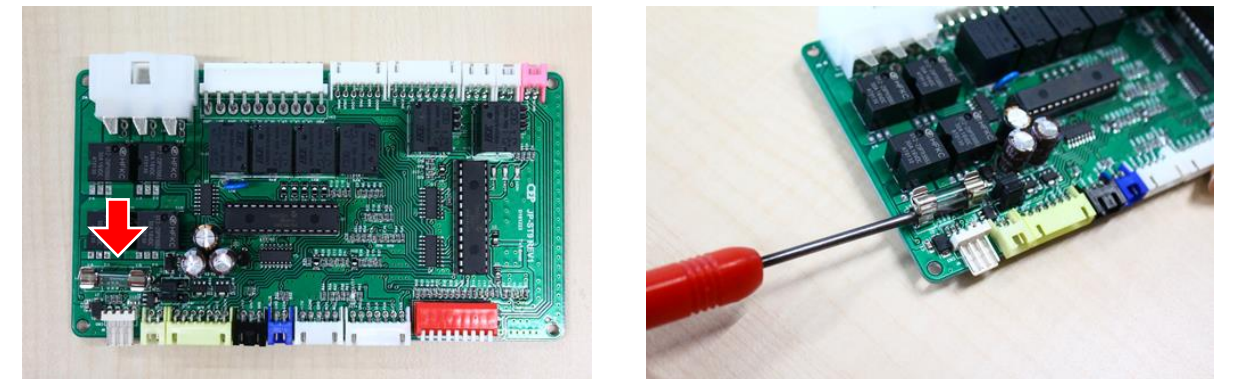
裏面に従って動作確認を行って下さい。必ず走行テストも行って下さい。

セット内容(汎用品)

※ 専用品はカラーの取説に記載しているセット内容を参照して下さい。



ソニックスタート基板上のヒューズについて



ソニックスタート基板上に回路を保護する目的の管ヒューズが付いています。このヒューズはCN3、CN5、CN6、CN8、CN9、CN12、CN13の赤線がショートした場合や、200mA以上の電流が流れた場合に飛びます。スマートモジュールやセンサー、イモビキャンセラー等が反応しないという症状の場合、このヒューズをご確認下さい。ヒューズの確認や交換は、必ず全てのコネクタを抜いた状態で行い、ヒューズの下に隙間に小さいマイナスドライバーを挿し込み、優しく外して下さい。

動作確認方法 【プッシュスタート機能】

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
①	シフトが P の位置でコネクタを接続する。 (CN4桃線をサイドブレーキに接続されている場合は、サイドブレーキを引いた状態でコネクタを接続する。) 【重要】 CN1のコネクタを最後に接続して下さい。	サウンドが2回鳴り、車両の ACC と IG が ON になる。 その後サウンドが1回鳴り、ACC と IG が OFF になる。	リレーの「カチッ」という音もしない。	CN1赤線の電源の結線不良、もしくはCN1黒線のアース不良。
			サウンドが鳴らない。	CN1茶線(サイレン)の結線不良、もしくはサイレンのアース不良。
			ACC と IG が一瞬 ON にならない。	CN2の橙線(ACC)、白線(IG1)、白/黒線(IG2)の結線不良。
②	アンロック状態でブレーキを踏まずにスタートスイッチを押す。	スタートスイッチを押すたびに車両の状態が、OFF→ACC→IG→OFF→…と切り替わる。	車両の状態が切り替わらない。	スタートスイッチの結線不良、または DIP スイッチ4が ON になっている。 【スマートモジュール装着時】 アンテナを接続していない。リモコンが近くにない。
③	アンロック状態でシフトが P の位置でブレーキを踏む。	CN5の LED が「パパパッ」と光る。	CN5の LED が反応しない。	CN4白線(ブレーキ)の結線不良。DIP スイッチ3の設定が違う。
④	③の状態で純正のエンジンキーをキーシリンダーに挿し、スタートスイッチを短く押す。	セルモーターが回り、エンジンが始動する。	ACC・IG が ON になり、その後 CN5の LED スキャナが「パパパッ」と光る	Pポジションの自動検出ができない車両です。DIP スイッチ1を ON にし、CN4桃線(P ポジション/サイドブレーキ)を配線して下さい。
			ACC・IG が ON になり、約 5 秒後に全て OFF になる。	CN2緑線(ST)の結線不良。
			セルモーターは回るが、エンジンがかからない。 (約 5 秒後に ACC・IG がオフ)	車両の IG ラインが2系統に分かれていないか確認。 2系統ある場合、CN1白/黒線(IG2)を配線して下さい。
			エンジンがかかった後、しばらくすると止まってしまう。	エンジン始動自動検出ができない車両です。「エンジン始動方法」を「自動検出」から「タイマー」に変更して下さい。
⑤	③の状態で純正のエンジンキーをキーシリンダーに挿さずに、スタートスイッチを短く押す。	セルモーターが回り、エンジンが始動する。	セルモーターは回るが、エンジンがかからない。(約 5 秒後に ACC・IG がオフ)	イモビキャンセラーの結線不良。アンテナの設置場所が悪い。 アンテナをキーシリンダーの奥の方に設置すると、車両が正しくイモビを検知できません。
⑥	エンジンがかかっている状態でシフトを D にし、スタートスイッチを押す。	エンジンが止まらない。 (スイッチが反応しない。)	エンジンが止まる。	Pポジションの自動検出ができない車両です。DIP スイッチ1を ON にし、CN4桃線(P ポジション/サイドブレーキ)を配線して下さい。
⑦	【スマートモジュール装着時】 運転席付近でリモコンを移動させ、リモコンの LED がどの位置でも点滅することを確認する。	リモコンの LED が点滅する。	リモコンの LED が点滅しない場所がある。	リモコンが検知できていない。アンテナの設置位置を確認して下さい。

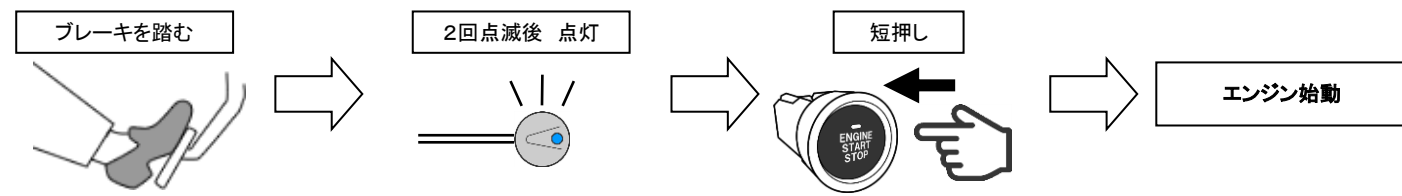
動作確認方法 【キーレス連動機能・セキュリティ機能】

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
①	リモコンでロックする。	アンサーバックし、5秒後にセキュリティがONになる。セキュリティオン時は、CN5の LED が点滅する。	「キュ…キュ…キュ」という音が鳴り、ロックできない(セキュリティが ON にならない)。	車両のドアが開いている、CN4 赤/白線の接続先が違う、または DIP スイッチ6の設定が違う。
			サウンドアンサーバックしない。	CN4青線(ロック線)または橙/白線(アンサーバック入力線)の結線不良。 DIPスイッチの4と5が OFF になっていることも確認)
②	セキュリティ ON 中にリモコンでアンロックする。	アンサーバックし、セキュリティがオフになる。	サウンドアンサーバックしない。	CN4紫線の結線不良。
③	セキュリティ ON 中に、ドアを開ける。	サイレンが30秒間鳴る。 (CN1の灰線(ハザード出力)を接続している場合は、ハザードも高速点滅する)	サイレンが鳴らない。	CN4の赤/白線(ドア開閉検知)の結線不良。

ソニックスタート 5 簡易取扱説明書

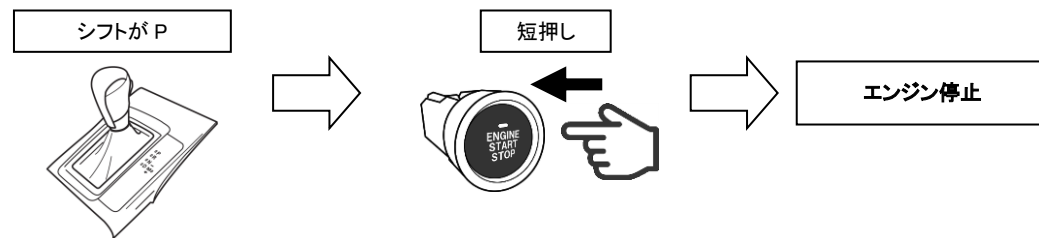
エンジンの始動

アンロック状態でシフトが P ポジションの位置にある状態で、ブレーキを踏み、スタートスイッチを短く 1 回押します。



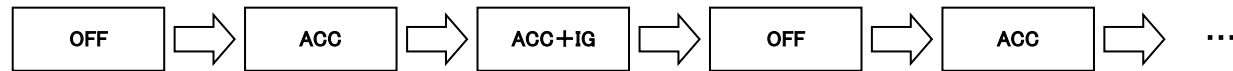
エンジンの停止

シフトが P ポジションの位置にある状態で、スタートスイッチを短く 1 回押します。



ACC(アクセサリ)モード・IG(イグニッション)モードの切り替え

ブレーキを踏まずにスタートスイッチを短く押すと、電源モードが切り替わります。



エンジンの始動/停止ができない場合

■ IG が ON になるが、セルモーターが回らない場合

<原因> 本製品が P ポジション(サイドブレーキ)の検出ができていません。

<操作> 2秒間スタートスイッチを押してください。

<対策> 取付業者にご相談いただき、取付説明書に従って配線や設定を再確認してください。

【注意】

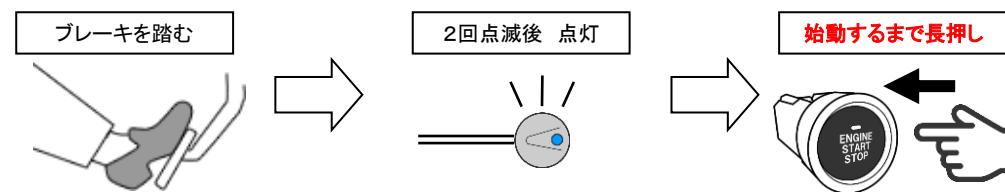
P ポジション(サイドブレーキ)の検出ができていない為、エンジンの停止もできない可能性があります。停止時も2秒間スタートスイッチを押してください。

■ セルモーターが回る時間が短く、エンジンがかかりきらない場合

<原因> 本製品がエンジンが始動したことを検出できていません。

<操作> エンジンが始動するまで、スタートスイッチを押し続けてください。

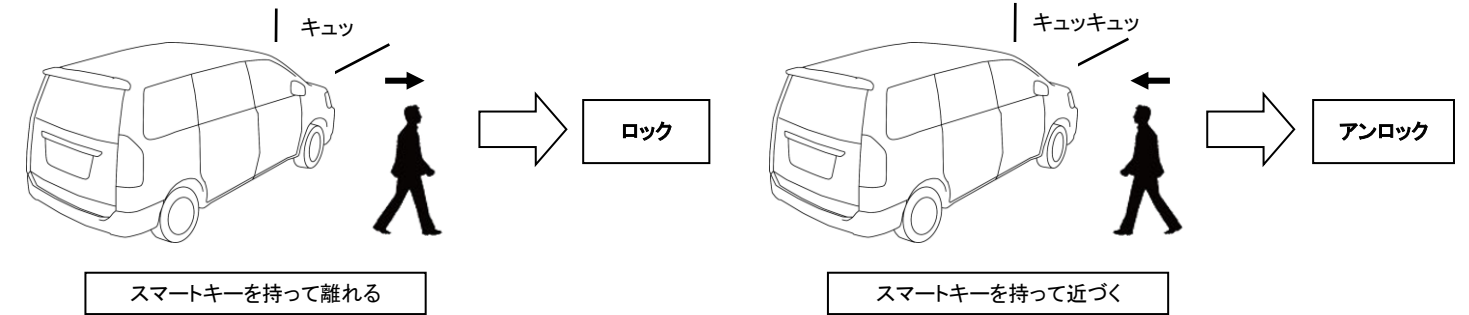
<対策> 設定項目の「エンジン始動方法」を「タイマー」に変更してください。



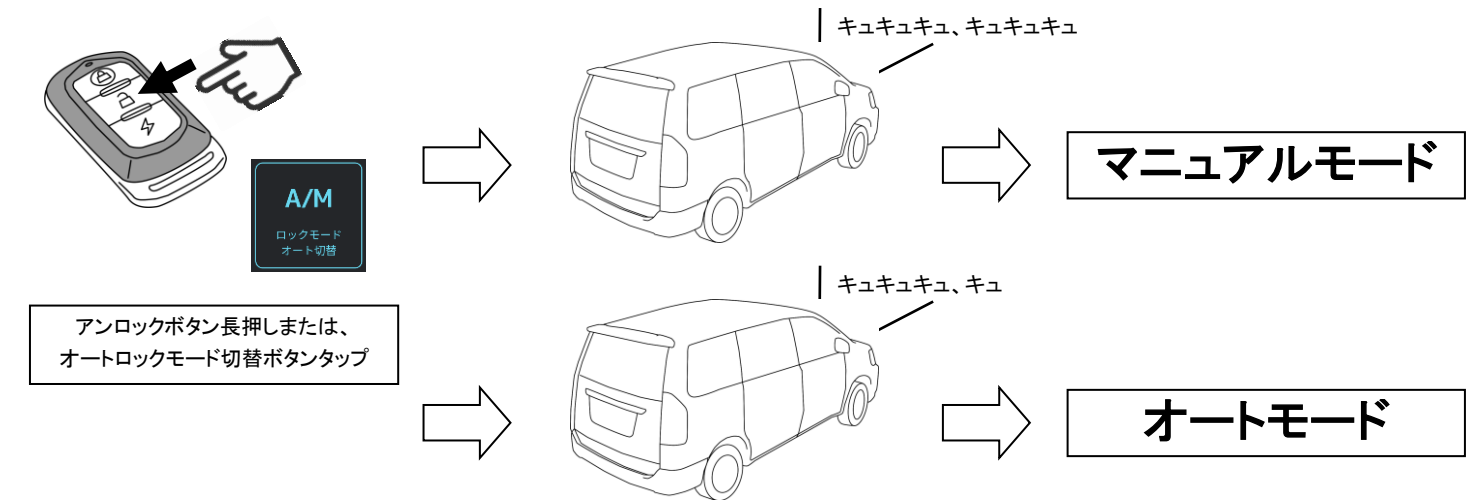
スマートモジュール/スマホ対応モジュール(オプション)の動作

オートロック機能

スマートキー/スマホを持って離れるとロックします。ドアが開いている場合は、ロックしません。スマートキー/スマホを持って近づくとアンロックします。



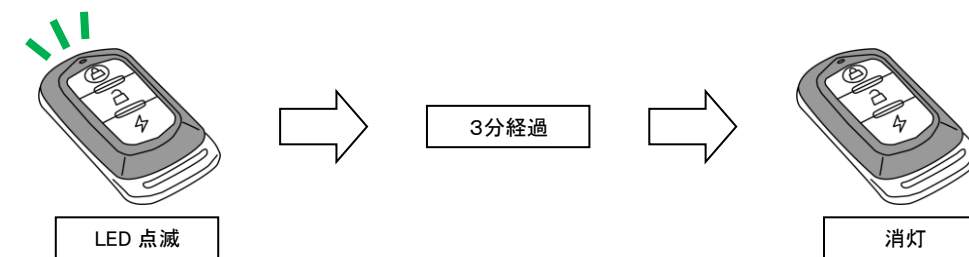
オートロックモードとマニュアルモードの切り替え



スリープモード(スマートモジュールのみ)

車両の近くにリモコンがある状態で一定時間(初期設定:3分)が経過すると自動的にリモコンの電源を OFF にします。この場合、オートロック機能は無効になります。以下のいずれかの動作を行った場合に、再びリモコンの電源が ON になります。

リモコンのボタンを押下 / リクエストスイッチ押下 / ドア開閉 / スタートスイッチ押下



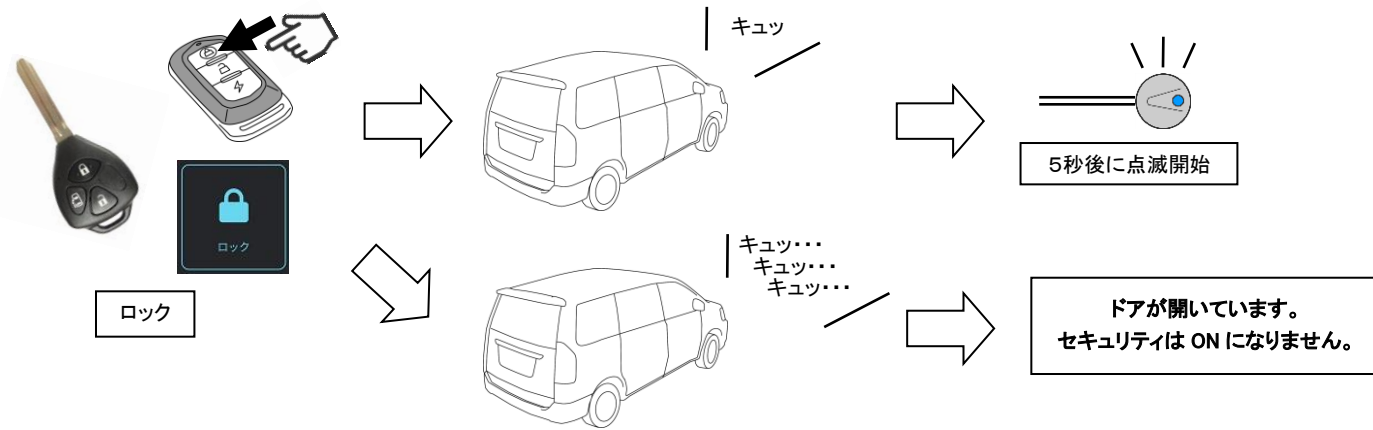
リモコンでのエンジンスタート/ストップ

ロック中にカーサーチボタンをゆっくり 2 回押す、またはリモート開始/停止ボタンをタップすると、エンジンの始動が可能です。同じ操作でエンジン停止もできます。



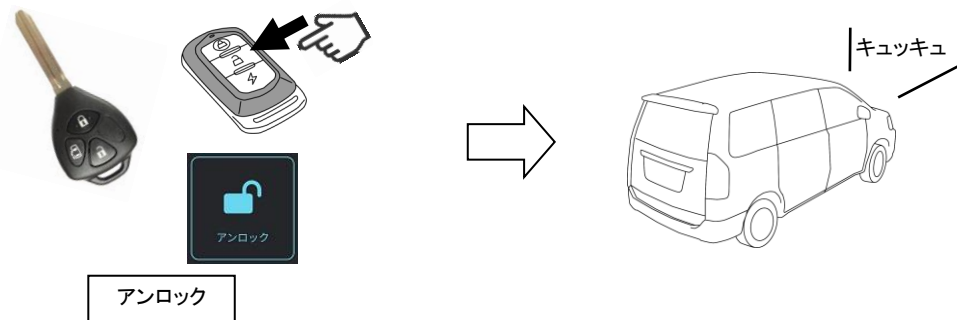
セキュリティを ON にする

キーレス、スマートキーやスマホでロックすると、自動的にセキュリティが ON になります。



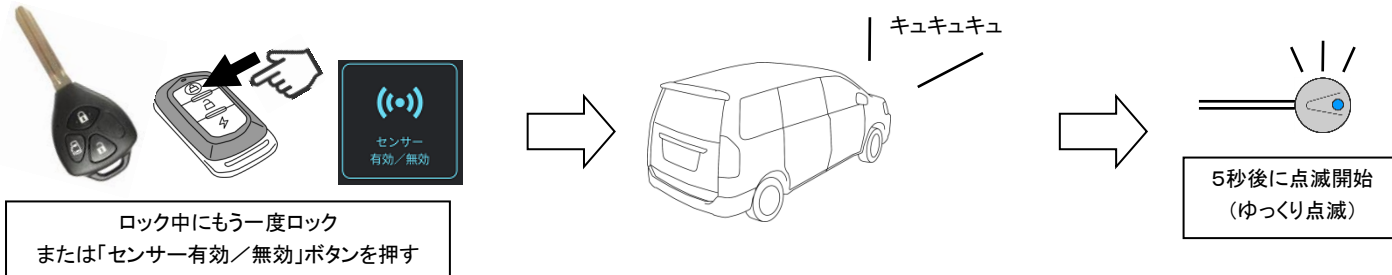
セキュリティを OFF にする

キーレス、スマートキーやスマホでアンロックすると、自動的にセキュリティが OFF になります。



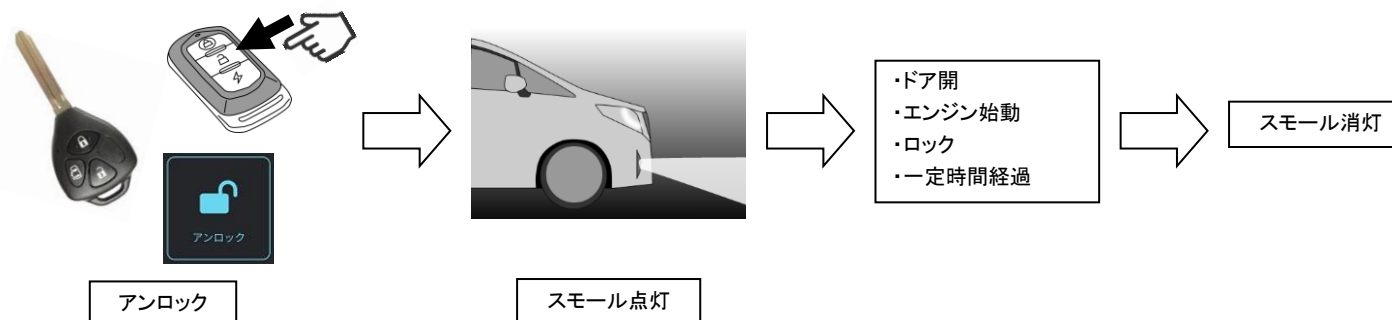
センサー監視 OFF モード

セキュリティ ON 中にもう一度リモコンでロックする、またはスマホの「センサー有効/無効」ボタンを押すと、サウンドが短く3回鳴り、センサーの監視が OFF になります。人が多い場所や立体駐車場に駐車する場合に便利です。



スモールアンサーバック機能

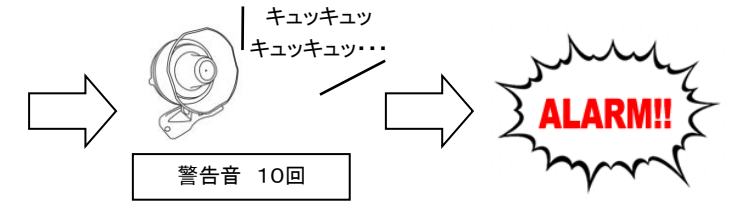
リモコンやスマホでアンロックすると、スモールランプやフォグランプが点灯します。



アラーム条件

セキュリティ ON 中に以下の異常を検出した場合、警告音が 10 回鳴った後、ハザードが高速点滅し、30 秒間サイレンが鳴ります。その後、90 秒間ハザードが点滅します。

- ・ドアが開けられる。
- ・スタートスイッチが押される。
- ・ブレーキが踏まれる。
- ・ロック中にバッテリーを外され、再度バッテリーを接続される。
- ・センサーが重度障害を検出する。



セキュリティの強制解除とエンジン始動方法

リモコンを紛失された場合や、リモコン/スマホの電池が無くなった場合に行ってください。

<セキュリティ ON 中>

- ① メカニカルキーを使用して開錠し、車両に乗り込みます。この時点でアラームします。
- ② ドアを開けた状態で、設定スイッチを設定した回数(初期設定:2回)押します。(約1秒に1回のペース)
- ③ ドアを閉めます。(ドア開検知入力線をルームランプに接続している場合は、ルームランプが消えるまで待ちます。)
- ④ 設定スイッチを押した回数が正しければ、セキュリティが解除されます。

【注意】

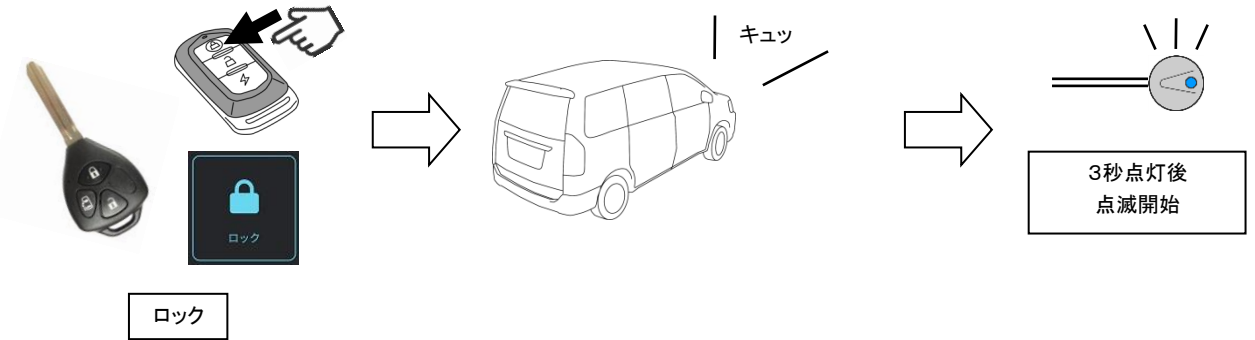
- ・設定スイッチを押す回数を間違えるとサイレンが 30 秒間鳴り、2 分間セキュリティ解除操作はできません。
- ・設定スイッチは、必ず分かりにくい場所に設置してください。

<セキュリティ OFF 中>

設定スイッチを短押しすると、1分間はリモコンが近くに無くてもエンジンの始動が可能になります。

セキュリティを完全に OFF にする

設定項目の「セキュリティ機能」を「OFF」に変更してください。セキュリティ機能が完全に OFF になります。セキュリティ完全 OFF モード時は、警告やアラームしなくなります。乗逃げ防止機能は有効な為、ロック中はスタートスイッチが押されても反応しません。リモコン紛失時等は、上記の強制解除操作が必要です。



【重要】

詳細な使用方法に関しては、Web 上の取扱説明書をご確認ください。

https://cepinc.jp/chumon/torisetsu/ss5_manual_1_1.pdf

